

事務事業名	舞台音響・舞台照明管理運営委託事業				担当	教育委員会 文化課 管理係	
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			電話番号		
施策名	01	生涯学習の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成8 年度～）	
予算科目	1.一般会計	10.教育費	4社会教育費	5市民会館費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	市民会館及び二宮文化会館は、芸術・文化の発信基地として、多くの市民に高い芸術・文化に接する機会を提供するため、また、利用者に、専門知識を要する舞台音響、照明設備を円滑に使用していただき、高度な舞台演出効果を実現し、設備の性能を維持するため、職員では対応不可能な場合に、設備の操作に熟練した技術者を有する専門業者に設備の管理運営（仕込、リハーサル、本番、管理、機器の点検等）の業務を委託している。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 24年度実績 複数の専門事業者から委託業務内容別に見積りを徴取し、もっとも金額が低い事業者と一人一日当りの単価契約を締結した。なお、委託にあたっては、設備の点検や催し物の内容等により、職員では対応不可能な場合に音響設備、照明設備の管理運営を委託した。委託日数57日（月例点検、臨時点検業務を含む） 25年度計画 市民会館の機材の保全管理（点検、清掃）及び二宮文化会館での催し物で、職員では対応できない場合に委託を予定している。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
	ア	委託日数	日	84	80	85	57	80
	イ	委託人数	人	235	246	184	149	220
	ウ	委託金額	千円	6,143	6,147	5,687	2,843	5,000
	エ							
	オ							
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 市民会館及・二宮文化会館利用者（主催者、出演者）及び入場者	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
	ア	利用者の設備利用回数	回	204	224	186	245	250
	イ	入場者数	人	85,800	114,882	9,892	37,912	39,000
	ウ							
	エ							
	オ							
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 舞台音響・照明設備を円滑に運用し、誤操作による破損、危険を防止する。 利用者及び入場者が満足できる舞台演出効果を実現する。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
	ア	寄せられた苦情の件数	件	0	0	0	0	0
	イ							
	ウ							
	エ							
	オ							
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 舞台音響・照明設備を有効に活用して入場者の満足度を向上し、芸術文化の振興を図る。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
	ア	芸術文化活動に興味・関心のある市民の割合	%	69.7	66	65.6	66.2	67
	イ							
	ウ							
	エ							
	オ							

(2) 総事業費の推移		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	6,143	6,147	5,687	2,843	
	事業費計(A)	千円	6,143	6,147	5,687	2,843	
	人件費	人	1	1	1	1	
	正規職員従事人数	時間	500	500	460	500	
	延べ業務時間	千円	2,028	2,134	1,951	2,101	
人件費計(B)	千円	2,028	2,134	1,951	2,101		
トータルコスト(A)+(B)		千円	8,171	8,281	7,638	4,944	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	市民会館の開館当初は、事務職員が研修を受けて音響・照明機器の操作を行っていた。人事異動の際には操作方法を引き継いでいたが、長期間技術レベルを維持することは難しく、職員では対応できない催し物が出てきたため、年間数回、専門業者への業務委託により対応するようになった。その後、機器の更新により、さらに高度な知識、技術が必要となり、利用者もより高度な舞台演出効果を望むようになったため、平成8年度から、安全管理、機器の点検を含め、音響、照明管理運営の業務委託を開始した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	近年、舞台音響、照明における技術の進歩は著しく、音響機器、照明機器もコンピューター制御となっている。市民会館では、音響、照明設備が老朽化したため、平成5年度から11年度にかけて改修工事を行い、音響設備にはデジタルミキサー、照明設備にはコンピューター制御の調光卓を導入した。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市民会館活動の充実は市の施策である。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 芸術文化の振興のために必要である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 舞台音響・照明設備を円滑に運用し、安全確保と舞台演出効果を高めるものであり、適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 設備の保守点検により機器の性能が保たれている。また、舞台音響・照明設備は有効に活用されており、利用者等からの苦情も寄せられていない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 利用者が満足できる演出効果を提供できなくなる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 高度な舞台演出効果を要する催し物に対して、利用者の期待に十分こたえられなくなるため、削減できない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか？ (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 委託契約、委託料の支払い、催し物予定の連絡調整等の事務及び、舞台使用中は必ず職員1名の配置が必要であり、必要最小限の事務であるので、これ以上の人件費の削減は難しい。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 全ての利用者に、芸術文化の振興を図るために実施しているものであり、公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							